

図書館の職員さんに聞いてみよう！
本のはなし

話題の
新刊本!



(一般書)
精神科医 Tomy が教える心の執着の手放し方
著：精神科医 Tomy
出版：ダイヤモンド社

物事に執着すればするほど、頭に雑念が生じ、執着したまままだとストレスは消えないし、幸福感もたらされない。だから、「ポジティブに諦める」ことが大切なポイントになります。本書では、こころの執着の手放し方を読み切り小説仕立ての8つの物語と、わかりやすい解説とともに読んでくれます。(中央図書館所蔵)



(児童書)
すきっていわなきゃだめ?
ボードブック版
著：辻村深月
絵画：今日マチ子
出版：岩崎書店

あの直木賞作家の辻村深月さんと画家の今日マチ子さんが作った絵本。主人公は小学生。教室では恋の話でもちきりで、好きな人はいないの？と聞いてくる。「わかんない」って答えたら、「それって、ほんとうのすきじゃないんだよ」と言われた。でも、本当は…。恋愛観、ジェンダー観を考えさせてくれる現代感覚の絵本です。(中央図書館所蔵)

図書館からの
まめ知識

Vol.109

こどもの読書週間

「子ども読書の日」子どもたちにもっと本を！

子どもたちにもっと本を、もっと本を読む場所をとの願いから、1959年に「こどもの読書週間」は誕生しました。

なぜ、「こどもの読書週間」が「子ども」ではなく「こども」なのか？これは「こどもの日」に名称をあわせたからだそうです。

また、「子ども読書の日」は、子どもの読書活動についての関心と理解を深め、積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律」で定められています。

本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。期間中は、各地の図書館・書店・学校を中心に関連イベントも多く、大人にとっても子どもの読書の大切さを考える週間でもあります。

当館でも、「すくすくひろば」や「おはなしクラブ」の読み聞かせがあり、ビンゴブックも行いますので、お楽しみに！

図書館からのお知らせは P27

第51回 かぎろひを観る会

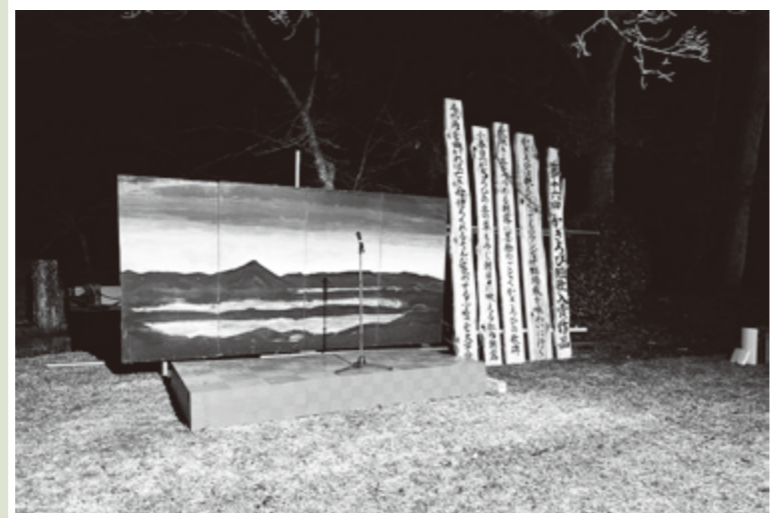
2月11日

「東の野に かぎろひの立つ見えて かへり見すれば 月かたぶきぬ」

『万葉集』巻1・48

前日に降っていた雨の影響で雲が出ていたことや、2月にしては気温が高かったこともあり「かぎろひ」を観ることができませんでした。しかし、当日は天候も悪い中52人の方にご参加いただき、「かぎろひ」を感じることができたのではないのでしょうか。

来年も開催予定となっている「かぎろひを観る会」ですが、次回こそは皆さんと「かぎろひ」を観れることを楽しみにしております。



大和富士登山大会を開催

2月19日

毎年恒例の登山大会。榛原にある額井岳（別称：大和富士）で市観光協会主催により開催しました。

大和富士ホールを出発して、十八神社で登山者安全祈願祭を執り行い、それぞれのペースで山頂を目指しました。道中、少し険しいところや、朝からの雨で登山道がぬかるんで大変でしたが、大和富士ホールへ戻る全行程約7kmのコースを楽しめました。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、毎年地元の方々が準備して下さる豚汁などの振る舞いも断念せざるを得ない状況となりました。しかし、地元額井産の美味しいお米や美榛苑の入浴券ペアチケットなどが当たる抽選会が大好評で、毎年参加される方や幅広い世代の参加者が大和富士登山を楽しめました。



チェーンソー整備・選木・間伐講習会開催

2月25日

宇陀林業振興協議会および宇陀市森林組合の主催によるチェーンソー整備・選木・間伐講習会が、宇陀市森林組合を会場として開催され、約70人が参加されました。

午前中は「目立て」とよばれる刃のメンテナンス方法を中心としたチェーンソー整備の講習がありました。

午後からは、榛原牧地内山林にて、選木・伐倒を中心とした間伐講習会があり、「プロット」とよばれる四方エリアの中から選木する基準と、間伐の重要性を学び、後半では大木の間伐デモンストレーションが行われ、大木が倒れる時の「ドドドーン」という轟音と同時に拍手喝さい、講習会が大いに盛り上がりしました。



大和高原産のお米が高く評価!!

市は、持続可能な農業の振興と環境負荷軽減を地域全体で推進する「オーガニックビレッジ宣言」を行っており、その中で宇陀市を含む大和高原産のお米（品種：ゆうだい21）が米・食味分析鑑定コンクール：国際大会で特別優秀賞を受賞、(品種：にこまる)は大阪府民のいっちゃんうまい米コンテストで大阪府知事賞並びに、いっちゃんうまい最優秀賞、(品種：コシヒカリ)も入賞されるなど高い評価を受けました。受賞された「大和高原・米・食味向上委員会」を代表して、宇陀市の副会長、福田さん、事務局の林さんが市長を表敬訪問されました。2人は、「誰もが理解しやすい客観的な基準を前面に打ち出し、消費者に価値を納得してもらいたいとの思いで取り組んだ結果です。」と喜ばれていました。



▲左から福田さんと林さん

まちのわだい

無名橋の除幕式

3月9日

市の橋を管理しやすくするため、無名橋に名前をつける取り組みを行いました。榛原東小学校の6年生の皆さんに命名していただき、除幕式を行いました。

名前は「神笑光棒東橋」(しんしょうこうはいひがはし) “神のように笑って光り輝く日々をこれから過ごしていきたい。また後輩たちにも過ごしてほしい”との思いが込められています。



花いっぱい運動実施

2月18日

今年も大宇陀青少年健全育成協議会が中心となって花いっぱい運動を行いました。

花植え作業は、プランターにジュリアンを3苗ずつ植え、大宇陀地域の5つの施設①大宇陀高等学校②大宇陀中学校③大宇陀小学校④大宇陀こども園⑤大宇陀ラガールに20個(プランター)ずつ配りました。この運動を通じて活動を実施されている方々は、「地域とつながる大きなネットワークの橋渡し



となることを願っています。」と語られました。